

漢字カードを作つてみよう

漢字を書いた紙を貼れるものとなると、家具や電化製品など、どうしても限られてしまいます。そこで活用したいのが、手作りの漢字カードです。

手作りといつても、作り方はいたって簡単です。ご家庭にある紙を同じ大きさに切り、そこにマジックなどで漢字を書き込んでいけばいいのです。

カードをくり返し使うことを考えると、紙はボール紙のようなやや厚手のものがよいと思います。また、幼児はまだ視覚機能の発達が十分ではないので、カードのサイズはトランプより一回り大きめぐらいが適当でしょう。

漢字は見やすいように、太くはっきりと書いてあげてください。お母さんの中には、「私は字が下手だから」という方もいらっしゃるかもしれません、楷書で正しく書いてあれば、多少つたない字でも問題はありません、どうしても自信がないという方は、パソコンやワープロで印字したものを拡大してカードに貼ってもいいでしょう。

漢字カードに書く漢字は、お子さんにとって身近なもの、お子さんが興味・関心をもっているものならば、基本的に何でもかまいません。

たとえば「積み木」「砂場」「鉄棒」「公園」など遊びに関するもの、「帽子」「靴」など毎日身につけるもの、「牛乳」「蜜柑」「大根」「ご飯」な

ど日常食卓にのぼるもの、「目」「鼻」「口」「手」「足」など体の部位、「雲」「雨」「雪」など天気に関するもの、「お父さん」「お母さん」「お兄ちゃん」「お姉ちゃん」といった家族の呼称など、カードにする漢字はいくらでもあります。

また、動物が好きな子だったら「猿」「象」「虎」「馬」「麒麟」など、花の好きな子には「桜」「梅」「百合」「薔薇」といった花の名前をカードに書いてあげるのもいいでしょう。

そして、できるだけ実物と一緒にカードを見せながら、「さあ、靴を履いて、お出かけしようね」「喉が乾いたから、牛乳を飲もうか」「このお花は百合っていうのよ。とってもきれいね」というように、お母さんが漢字を読んであげればよいのです。実物がそばにない場合は、絵本や図鑑などを利用してもよいと思います。